

— 相撲・穢れ・ジェンダー —

女人禁制の人類学

すずき まさたか

鈴木正宗著

▼46判・上製カバー・372頁・定価二、七五〇円

2021年8月刊行



「女人禁制」「女人結界」について、「伝統」と「差別」の二者択一を乗り越え、開かれた対話と議論を促すための考え方と資料を示す、基本の一冊！

【目次】

まえがき

第一章 相撲と女人禁制

- 1 問題提起／2 大相撲の舞鶴巡業で起きた出来事／3 主役はマスコミ／4 土俵の女人禁制の意識化／5 土俵祭／6 土俵の祭神の変化／7 表彰式／8 神送り／9 表彰式の再検討／10 国技館の開館／11 土俵と土俵祭の起源／12 大相撲の伝統と近代
- ① 国技館以前／13 大相撲の伝統と近代② 国技館以後／14 大相撲とナショナルリズム ① 伝統の再構築／15 大相撲の伝統とは何か／16 伝統の行方／表1-1 現代の相撲の女人禁制関連の出来事／表1-2 近世・近代の相撲に関する出来事

第二章 穢れと女人禁制

- 1 女人禁制への視点／2 堂舎の結果／3 山の境界と開山伝承／4 山林修行・山林寺院・山岳寺院／5 「山の境界」をめぐる女性の伝承／6 境界をめぐる女性性／7 女性の穢れの時代的变化① 山岳登拝の規制／8 女性の穢れの時代的变化② 規定の精緻化／9 女性の穢れの時代的变化③ 仏教の影響／10 女性の穢れの時代的变化④ 疫病と王権／11 女性の穢れの時代的变化⑤ 室町時代以降／12 女性の穢れの時代的变化⑥ 江戸時代以降／13 修験道と女人禁制・女人結界／14 近代の諸問題／15 結界と禁制忌避と排除／16 彦山の中世／17 伯耆大山の中世／18 一般論への展開／19 機能論と構造論を越えて／20 海外との比較① スリランカ／21 海外との比較② 南アジアと東南アジア／22 穢れ研究の可能性

第三章 山岳信仰とジェンダー

- 1 ジェンダーの視点／2 女人禁制・女人結界の概観／3 女人結界の解禁／4 女人結界の解禁とその後／5 歴史の中の女人禁制① 史料の再検討／6 歴史の中の女人禁制② 伝承の再検討／

- 7 習俗としての女人禁制① 恒常的規制と一時的規制／8 習俗としての女人禁制② 拡大と適用／9 習俗としての女人禁制③ 海外の事例／10 社会運動の中の女人禁制／11 差別としての女人禁制／12 フェミニズムと山岳信仰／13 大峯山の女人禁制／14 女人禁制の行方とジェンダー／表3-1 近代女人禁制関係年表（大峯山を主とする）／表3-2 女人結界の解禁をめぐる三本山と護持院の協議

参考文献／図版クレジット／あとがき／索引

◆著者略歴

一九四九年、東京都生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。慶應義塾大学名誉教授。日本山岳修験学会会長。
 主な著書に、『中国南部少数民族誌（三和書房）』、『山と神と人』、『淡交社』、『スリランカの宗教と社会』、『祭祀と空間のコスモロジー』（春秋社）、『神と仏の民俗』、『女人禁制』（吉川弘文館）、『山岳信仰』（中央公論新社）、『ミャオ族の歴史と文化の動態』、『熊野と神楽』（平凡社）、『東アジアの民族と文化の変貌』（風響社）。
 主な編著に、『大地と神々との共生』（昭和堂）、『東アジアの近代と日本』、『東アジアの民衆文化と祝祭空間』、『南アジアの文化と社会を読み解く』、『アジアの文化遺産』（慶應義塾大学出版会）、『神話と芸能のインド』（山川出版）、『東アジアにおける宗教文化の再構築』、『森羅万象のささやき』（風響社）。
 受賞歴として、一九九七年に義塾賞、二〇一四年に第11回木村重信民族芸術学会賞を受賞。二〇一六年、「日本の山岳信仰と修験道に関する宗教学的研究」の業績で第18回秩父宮記念山岳賞（日本山岳会）を受賞。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
鈴木正宗著	
法藏館	
定価二、七五〇円	
住所	
お電話	
お名前	
女人禁制の人類学 — 相撲・穢れ・ジェンダー — ISBN: 978-4-8318-5650-0 C1036	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

社会科学